

研究主題

買物実習を中核にした言語活動を通して、児童が自分の生活における課題を解決する能力を高める指導の工夫

所沢市立中央小学校 山下綾子

1 主題設定の理由

家庭科は、実践的・体験的な活動を通して学習を進めるとするという教科の特質をもっている。これにより、児童は学習を通して家庭生活に関する内容を実感を伴って理解していく。加えて、家庭科においても言語活動は、知的活動の基盤としての役割が重要である。そのため、児童が家庭生活に必要な知識や技能を身に付けるために、「衣食住などの生活の中の様々な言葉を実感を伴って理解する学習活動」を、自分の生活における課題を解決するために、「言葉や図表などを用いて生活をよりよくする方法を考えたり、説明したりするなどの学習活動」を言語活動を通して充実させる必要があると考える。

そこで本研究では、内容 B「日常の食事と調理の基礎(1)栄養を考えた食事」と、内容 D「身近な消費生活と環境(1)物や金銭の使い方と買物」を関連させ、調理実習の材料を実際に買いに行く買物実習を行う。

児童をとりまく現代社会には多くの物があふれ、それらに関する情報も氾濫している。このような社会においては、児童が限りある物や金銭の大切さに気付き、多くの情報を適切に整理して物を選んだり購入したりする知識や技能、それに伴う課題を解決できる能力を身に付ける必要がある。本研究では、これまでは各家庭で行われてきた買物を児童共通の体験にし、学習を深められるようにする。さらに、その体験を言語活動を通して学び合うことで、児童が自分の生活における課題に気付き、それを解決できる能力を育成できるようにする。さらに、自分や友達の体験を振り返りさらに課題の解決方法を深めることができる児童の育成を目指して言語活動の充実を図っていく。

題材前半では生活の中の様々な言葉を実感を伴って理解できるように指導を進めていく。それにより身に付けた知識とともに、児童はこれまでの生活経験から思いや願いをもって買物実習に臨むであろう。実習後には振り返りを伝え合い、学級で共有してよりよい課題解決の方法を考えていく。ひとりひとりの体験や考えから児童相互が学び合うことができれば、様々な角度から生活の課題を考える思考力、考えたことを基に課題の解決を図るための判断力、自らの考えを的確に表す表現力が育っていくと考える。

以上のような理由から本研究テーマを設定し、実践を通して検証を試みる。

2 主題に迫るための方策

視点

言語活動を通して児童相互が学び合い、自分の生活における課題をよりよく解決できるようにする。

手だて (題材: 題材にかかわる手だて 本時: 本時にかかわる手だて)

(1) 既習事項や具体物を用いて、児童が生活の中の言葉を実感を伴って理解できるようにする。

(題材・本時)

(2) 児童が友達の考えを認め、その考えから学んだり考えたりしたことを教師が意図的に価値付け、学び合いの意識を高めるようにする。 (本時)

第6学年1組 家庭科学習指導案

1 題材名 栄養のバランスを考えた食事を作ろう

2 題材について

- (1) 本学級の児童は、「B 日常生活と調理の基礎」について、これまでにゆでる・いためる調理を学習している。家庭実践の宿題にも意欲的に取り組み、調理についての興味・関心も高い。しかし、学校で行う調理実習の材料を家庭で揃える際には、保護者に用意してもらう児童がほとんどである。また、お小遣いなどを計画的に使っていると実感している児童も少ないのが現状である。そのため、身近な消費生活における課題に気付いている児童は少ないと思われる。
- (2) 本題材では、栄養とその働き、食品の栄養的特徴を知り、1食分の献立を考え工夫することを通して、栄養を考えた食事に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるとともに、日常生活で活用する能力を育てることをねらいとしている。また、調理実習で使う材料を購入する買物実習を通して、身近な生活における消費について学習し、物や金銭の使い方への関心を高め、物の選択・購入活用に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な消費生活をよりよくしようと工夫する能力と実践的な態度を育てることもねらいとしている。
- (3) 展開にあたっては、様々な視点から食について興味・関心がもてるように栄養士の指導も取り入れながら、食品の栄養的特徴についての基礎的・基本的な知識を身に付けられるようにする。その知識をもとに各自が1食分の献立と調理方法、調理手順と必要な材料を考え、その材料を実際に買物に行く買物実習を行う。買物実習を共通の学習活動として位置づけることで、児童が消費に関してより実践的・体験的に学ぶことをねらいとしている。そして、実習の振り返りを言語活動を通して伝え合い、学びを深め児童が自分の生活における課題を解決できるようにしていきたい。調理実習では、これまでのゆでる・いためる調理の確実な技能の習得や発展を目指し、児童一人一人が自信をもって調理できるように指導・助言していく。題材の最後にはまとめとして、1月の給食週間に向けて、給食の献立を考える学習に取り組む。児童に自分たちの知識が全校を対象にした給食にも活かせることを実感できるようにし、自分の成長を感じられるようにしたい。

3 題材の目標

〈家庭生活への関心・意欲・態度〉

- 日常の食事や調理に関心をもち、栄養を考えた食事のとり方や、日常よく使用される食品を用いた調理をしようとしている。
- 物や金銭の計画的な使い方に関心をもち、適切に買物しようとしている。

〈生活を創意工夫する能力〉

- 栄養を考えた食事について課題を見つけ、その解決を目指し、日常よく使用される食品を用いた調理について考えたり、自分なりに工夫したりしている。
- 物や金銭の計画的な使い方と適切な買物について、その課題を見付け、その解決を目指して考えたり、自分なりに工夫したりしている。

〈生活の技能〉

- 日常よく使用される食品を用いた調理に関する基礎的・基本的な技能を身に付けている。
- 物や金銭の計画的な使い方と適切な買物に関する基礎的・基本的な技能を身に付けている。

〈家庭生活についての知識・理解〉

- 栄養を考えた食事のとり方について理解し、日常よく使用される食品を用いた調理に関する、基礎的・基本的な知識を身に付けている。
- 物や金銭の計画的な使い方と適切な買物について理解し基礎的・基本的な知識を身に付けている。

4 題材の指導計画・評価計画（12時間扱い 本時10／12）

小題材名	時	学習内容	主な学習活動	具体の評価規準と評価方法
給食にはどんな食材が使われているのだろう	1	○学習の見通しをもつこと ○給食に使われている食品を分類すること ○栄養士のお話を聞くこと	○給食の献立に使われている食品を書き出し、それを体内での主な働きによって3つに分ける。 ○五大栄養素の体内での働きについて想起する。 ○栄養士のお話を聞き、栄養素の働きについて理解を深める。	関 1食分の食事のとり方に関心をもち、栄養を考えた食事のとり方をしようとしている。 知 食品を3つのグループに分けることができ、五大栄養素の種類と働きについて理解している。
	給食	○1食分のおかずの分量を知ること	○給食の配膳の量を実際に計測し、1食分のおかずの量を知る。	
えよう 一食分の献立を考	2 3	○1食分の献立を考えること	○1食分の献立を考える。 ○献立を3つの食品グループに分け、栄養のバランスがとれているか確かめる。 ○使う材料とその分量を、給食を目安に考える。	知 3つのグループの食品を組み合わせるにより、栄養のバランスがよい食事になることを理解している。
立てよう 調理計画を	4	○調理計画を立てること	○考えた献立をもとに、調理の手順や時間配分を考え、調理計画を立てる。	工 調理に必要な器具や手順を考え、調理計画を自分なりに工夫している。
材料を買いに行こう	5	○物の買い方を考えること	○品物についている表示やマークについて確かめる。 ○材料を買うポイントを考える。	知 目的や品質を考えた物の選び方について理解している。
	6	○材料を買うこと	○学校近くの商店に材料の買物に行く。 ○1食分の分量を考えて、無駄のないよう買物をする。	関 身近な物の選び方や買い方に関心をもち、適切に買物をしようとしている。 技 購入しようとする物の品質や価格などの情報を集め、整理して購入することができる。
調理をしよう 一食分の献立の	7 8	○1食分の献立の調理をすること	○調理計画に沿って、買ってきた材料を使って調理実習を行う。	技 調理に必要な用具や食器及びこんろの安全で衛生的な取扱いができ、材料や目的に応じたゆで方やいため方ができる。

振り返ろう	9 ⑩	○買物実習・調理実習の振り返りを報告し学び合うこと	○食材を選んだポイントや使った感想をグループでまとめる。 ○各グループの情報をもとに、よりよい物の買い方を考える。 ○自分の生活の課題に活かせることを考える。	工 目的に合った物の選び方や買い方について、購入した物の品質や価格、使ってみた感想などの情報をもとに考えたり、工夫したりすることができる。
	家庭	○家庭実践	○休日の昼食や夕食作りに挑戦する。	
給食週間の給食の献立を考えよう	11 12	○給食の献立を考えること ○献立についてグループで話し合うこと	○買物実習や調理実習の既習事項を活かし、給食の献立を考える。 ○栄養士の助言を聞き、考えた献立を見直す。	知 栄養のバランスのよい1食分の献立の立て方について、理解している。 工 3つのグループの食品がそろった1食分の献立について考えたり、工夫したりしている。

5 本時の学習指導

(1)目標

目的に合った物の選び方や買い方について、購入した物の品質や価格、使ってみた感想などの情報をもとに考えたり、工夫したりすることができる。
(生活を創意工夫する能力)

(2)展開

学習活動	時間	教師の働きかけ(○)評価規準(◇)	資料等
1 本時の学習内容を知り、めあてを確認する。		○前時までに作ったポスターを示し、それをもとに学習を進めていくことを確認する。	・各グループのポスター ・めあての表示
買物実習・調理実習を振り返り、よりよい物の買い方を考えよう。			
2 よりよい買物をするためのポイントと、買物格言を想起する。	5'	○買物の時のめあてである「目的」「品質」「無駄なく」の3点と、クラスの買物格言を問い、想起できるようにする。	・ワークシート
3 想起したポイントから、「品質がよいで賞」「無駄がないで賞」の2点を、各自ポスターを見て選ぶ。	10'	○「品質や価格」「使ってみた感想」の情報をよく読み、選ぶよう促す。 ○ポスターだけでは分からないところは、質問をしてもよいことを伝える。【手だて(1)】	
4 グループで話し合い、2つの賞を決める。	10'	○個人の意見をもとにグループで話し合い、2つの賞を受賞するグループをそれぞれ決める。【手だて(2)】 ○受賞が多いグループを「買物名人で賞」に認定する。	
5 実践の中から、値段がほぼ同じで内容量が違う材料を挙げ、それを買ったグループの理由を聞き、自分の考えを書く。	10'	○値段がほぼ同じで、内容量が大きく違うコーン缶を選んだ3つの班の理由を聞くことで、児童が目的や品質、無駄について考えられるようにする。 ○自分の考えを書くことを通して、目的にあった物の選び方や買い方についての意識を高められるようにする。	3種のコーン缶

◇目的に合った物の選び方や買い方について、購入した物の品質や価格、使ってみた感想などの情報をもとに考えたり、工夫したりすることができる。

〈生活を創意工夫する能力〉(ワークシート・行動観察)

A：よりよい物の買い方について自分の考えをもち、次の買物についての課題をみつけ実践意欲を記入している。

B：目的に合った物の選び方や買い方について、購入した物の品質や価格、使ってみた感想などの情報をもとに考えたり、工夫したりすることができる。

→様々な情報をもとに、よりよい物の買い方について自分の考えをもてるように助言する。

指導を要する児童への手だて

→買物実習をワークシートを通して振り返るよう促し、目的をもって買物ができたことを称賛し、品質や価格に注目するよう助言する。

5 本時のまとめをして、次時の予告を聞く。

10'

○めあてに沿って、本時でわかるようになったことや新たな疑問などから振り返りを記入するよう伝える。
○よりよい買い方について自分の考えをもち、次の買物の課題を見つけている児童を称賛する。
○次時まで家庭で休日の食事作りをする課題を伝え、実践意欲を高める。

在籍児童数 男児17名 女児14名 計31名

6 板書計画

栄養のバランスを考えた食事を作ろう⑩ 買物実習と調理実習を振り返ろう

めあて 振り返りから、よりよい物の買い方を考えよう

● **目的に合った** **品質のよい** **ムダなく** ⇒ 6年1組 買物格言「品質に気を付けしっかり目を通し、ムダなく買うべし」

品質がよいで賞

1班 選んだ理由

2班

8班

：

ムダがないで賞

3班

4班

7班

：

買物名人で賞

2つの賞で多く選ばれているグループを認定する。

● 3種のコーン缶、それぞれの主張

2班の主張

3班の主張

5班の主張

⇒あなたの考え

わたしは、2班の買い方が無駄がなくてよいと思いました。

振り返り 目的に合わせて、品質のよい物をお得なく買うには、いろいろな情報を見て、自分で考えて買わなくてはいけないことが分かった。

次に買物に行く時は、同じものでもどうして値段が違うのかをよく考えて買いたい。

給食の栄養のバランスから学ぼう

月 日 年 組 名前

今日のめあて

●給食のこん立に使われている食品を3つのグループに分けましょう。

- 食品の3つのグループはさらに5つに分けられ、五大栄養素となります。五大栄養素の体内での働きを書きましょう。
- 栄養士 磯先生のお話のメモをとりましょう。

★めあてを振り返り、学習のまとめをしよう。

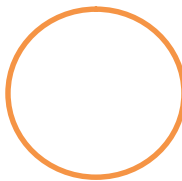
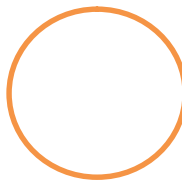
できるようになったこと・新しい疑問
わかるようになったこと など

1 食分のこん立を立てよう①

月 日 年 組 名前

今日のめあて

●調理実習で調理する、1食分の献立を立ててみましょう。

	主食	しる物	主菜	副菜
料理名	ごはん	みそ汁		
使用する食品	こめ	みそ わかめ ねぎ	完成予想図 	完成予想図 



●調理する食品を3つのグループに分けましょう。

●給食を参考にすると、1人分の分量は主菜()g、副菜()gです。

●使う食品とその分量を考えましょう。

使う食品	分量	使う食品	分量

★めあてを振り返り、学習のまとめをしよう。

【できるようになったこと・新しい疑問
わかるようになったこと など】

栄養のバランスを考えた食事を作ろう③

1 食分のこん立を立てよう②

月 日 年 組 名前

今日のめあて

●考えたこん立てを調理する調理計画を立てよう。

時刻	調理手順	使う調理器具	調理をする時のポイント
	① 手洗い・身支度		

★めあてを振り返り、学習のまとめをしよう。

できるようになったこと・新しい疑問
わかるようになったこと など

--

材料を買いに、買物にいこう

月 日 年 組 名前

今日のめあて

★ じょうずな買物とは

① ② ③
① にあった ② のよい物を ③ なく買うことである。

①目的に合った買物をするために買物の手順を確認しましょう。



②品質のよいものを買うためにマークや品質表示について知りましょう。

③むだなく買物をするために

一人分のおかずの分量は？給食をもとに考えと 主菜 g、副菜 gでした。

★よりよい材料を買うために、あなたはどんなところに気を付けますか。買物格言を考えましょう。
(格言とは、教えなどをあらわした短い文句のことです。)

みんなの知恵を合わせて



クラスの格言を作りましょう。

●6年1組 買物格言

★さあいよいよ買物実習です。実際に買う材料について選ぶ時に気を付けることを確認しましょう。

買う材料	選ぶときに気を付けること (格言を活用しよう)	グループでの話し合いの結果
		
		
		
		
		

★めあてを振り返り、学習のまとめをしよう。

【 できるようになったこと・新しい疑問
わかるようになったこと など 】

1 食分のこん立を調理しよう

月 日 年 組 名前

今日のめあて

★めあてを振り返り、学習のまとめをしよう。

【できるようになったこと・新しい疑問
わかるようになったこと など】

買物実習と調理実習をふり返ろう

月 日 年 組 名前

今日のめあて

●各グループのポスターを見て、「品質がよいで賞」「無駄がないで賞」を選びましょう。

●3つのグループの主張を聞いて、あなたが考えたことを書きましょう。

あなたが考えたこと

★めあてを振り返り、学習のまとめをしよう。

【 できるようになったこと・新しい疑問
わかるようになったこと など 】

家庭でチャレンジ 1 食分のこん立を調理しよう

月 日 年 組 名前

●料理名

●材料を選ぶ時に、気を付けたこと（おうちの人にも聞いてみましょう）

●使った材料を3つのグループに分けましょう。

主にエネルギーのもとになる	主に体を作るのもとになる	主に体の調子を整える

●調理した様子（絵を描いたりや写真をはったりします）

●調理した感想

給食週間のこん立を立てよう

月 日 年 組 名前

今日のめあて

●給食のこん立てを考えてみましょう。

献立名			(赤)主に体を作る	(緑)主に体の調子を整える	(黄)主に熱や力のもとになる



●栄養士 磯先生のアドバイスのメモをとりましょう。

★めあてを振り返り、学習のまとめをしよう。

できるようになったこと・新しい疑問
わかるようになったこと など